

新聞意見広告原稿が完成!

賛同活動は12月いっぱい継続しましょう!

お待たせしました。「朝日新聞12月5日の朝刊・茨城版」に掲載される「最終原稿」が完成しました。現在、朝日新聞の掲載基準による審査中です。変更される部分が出てくる可能性もありますが、大きな変更はないと考えています。

内容については既報の通り、「菅内閣による日本学術会議会員の任命拒否問題と憲法・民主主義」「軍備の増強と憲法9条」「新型コロナの感染で露わになった医療や福祉の貧困」「東海第二原発の廃炉」の4つの視点で県民に訴えています。

項目と内容の表現については、昨年と同様に5人の委員で構成した実行委員会において意見交換を重ねました。項目ごとに責任者を決めて文章を執筆し、その後全体で検討を重ねて最終稿を決定しました。写真を使用することも検討しましたが、様々な使用制限もあり、モノクロであっても訴求力を発揮できるようイラストを使用することにしました。

「新聞意見広告」賛同の締め切りは12月5日となっています。しかし、新型コロナの第3次流行の兆しも大きいこともありますので、年内いっぱい延長して取り組みましょう。また電話等での予約も進めてください。よろしくお願いいたします。

意見広告

あなただけの大切なもの、守られていますか?

GoTo「社会保障制度」の充実を!

新型コロナウイルス感染症拡大によって医療体制の崩壊は深刻な社会問題です。感染症対策は、国民生活の安定と経済の回復に不可欠です。GoToキャンペーンは、観光客の誘致と観光業の救済に効果的ですが、同時に「社会保障制度」の充実も必要です。高齢者の医療費負担の軽減、子育て支援の充実、障害者の雇用促進など、社会保障制度の充実が、国民生活の安定と経済の回復に不可欠です。

平和な世界に生きたい!

私たちは憲法9条を守り活かされる社会をめざしています。東海第二原発の廃炉、核兵器禁止条約の発効、ヒバクシャをはじめ世界中の反核運動で、核兵器禁止条約が発効することになりました。気候温暖化対策への抗議は全世界に瞬く間に広がりました。また「貧困・格差反対」「分断、人種差別を許すな」「ジェンダー平等」など平和と正義を求める行動は世界で広がりを見せています。

茨城県平和委員会 私たちは憲法9条を守り活かされる社会をめざしています。 事務局：茨城県水戸市水戸1-1-1 水戸市水戸1-1-1 水戸市水戸1-1-1

Y310-0912 水戸市水戸1-1-1 水戸市水戸1-1-1 Tel/Fax 029-251-2806 e-mail: ihaipei@bamber.plala.or.jp

新代表理事インタビュー

地域独自の活動スタイルを尊重し、必要な支援や協力をしたい



新代表理事 近藤 輝男さん(土浦)

前安倍政権を100%うけついで菅首相は、日本学術会議が推薦した新会員6名の任命拒否問題で早くもその本性を現しました。

日本学術会議は、学者・研究者が国家権力により学問の自由が圧殺され、戦争に動員させられたことへの反省から、学問の自由の確保と政府から独立して職務を行うことを旨として1949年に設立されました。学問の自由は、表現、言論、出版の自由と並んで民主主義の根幹をなすもので、憲法9条と同様に国民共有の貴重な財産です。時々の政権や権力者のものではない、ましてや菅個人のものでもありません。

政治を私物化し、政権に異を唱えるものは切るというファシズム体制は当たり前ようになってきています。今回の学術会議問題は、戦争法、集団的自衛権、辺野古新基地建設、敵基地攻撃構想、改憲の企みなどと軌を一にしたもので「戦争する国づくり」は内閣が変わっても一貫しています。

元総理の田中角栄氏は「戦争を知っている世代が政治の中枢にいるうちは心配ない。平和について議論する必要もない。だが、戦争を知らない世代が政治の中枢となったときはとても危ない」と言ったそうです。安倍前総理や菅総理など戦争体験がない世代が権力の中枢にいます。しかも日本の戦後の在り方を根本から変えようとする勢力の先頭に立っています。

民主主義も平和も危ない、戦前戦中の暗黒時代への復帰を

危ぶむ声があがっています。「何とかしなければ」との思いは、全ての会員が同じだと思います。そこに平和委員会の出番(いつでも出番ですが)があります。こんな大事な時に私のようなものが代表理事でよいのかと自問しています。

茨城県平和委員会には県内41の地域、職場を基礎にした平和委員会(平和の会)があります。いわゆる草の根の平和運動を地域、職場に根ざして進めています。したがって県平和委員会はトップダウン方式でなく現場を大切にしています。それぞれの地域で独自の活動スタイルを尊重し、必要な支援や協力をするのが代表の最低限の役割と思っています。

日本を含め世界中の圧倒的多数は核も戦争もない平和な世界を願っています。平和とか民主主義は脆弱な側面があります。ただ黙ってでは守れません。戦争をさせない、民主主義を守るには絶え間ない努力が必要です。

ヒバクシャをはじめ世界中の反核運動で、核兵器禁止条約が発効することになりました。気候温暖化対策への抗議は全世界に瞬く間に広がりました。また「貧困・格差反対」「分断、人種差別を許すな」「ジェンダー平等」など平和と正義を求める行動は世界で広がりを見せています。

声をあげれば政治は変わる、声をあげれば流れは変わる、そんな流れを国内外の平和運動と連帯し大きくする、その一翼を担っているのが私達の草の根平和運動であり、大いに誇っても良いのではと思っています。

「戦争法廃止 茨城共同アクション」開催!

水戸駅南口デッキ
11月19日(火)

日本学術会議会員6名は即時任命せよ!

敵基地攻撃論は、憲法も現実も無視した暴論だ!

11月19日(木)午後5時30分から、水戸駅南口のデッキで「茨城県民共同アクション」が開催されました。これは2015年6月15日、国会で安倍前首相と自公政権によって強行採決された「安全保障関連法案=安保法制」の廃止を求める運動です。毎月19日は、国会周辺を始めとして全国各地で「安保法制=戦争法廃止」の声を上げる様々な取り組みが開催されています。土浦や石岡、取手など、県内各地でも同様の取り組みが継続的に行われています。

県中央では、茨城県労働組合総連合(茨城労連)、新日本婦人の会県本部(新婦人)、茨城民主医療機関連合会(民医連)、保健生協、などの平和、労働、福祉団体など14団体、政党では日本共産党茨城県委員会等が参加して、「戦争法の廃止を求める茨城県民連絡会(戦争法廃止連絡会)」を結成し、毎月19日に「県民アクション」として取り組んでいます。また茨城大学名誉教授である

田中重博氏は会長を務め、県平和委員会が事務局長となっています。

今回は「戦争法いらない!」「沖縄米軍新基地阻止!」「学問の自由をこわすな!」「東海第二原発廃炉!」「総選挙で政権交代を!」と言う5つの課題を掲げてリレートークを行いました。田中会長は、菅首相が行った「学術会議会員6人の任命拒否」の問題について、「違憲・違法」であると批判し、同時に学術会議が結成された歴史的な背景を解明し、通行する人たちに「この暴挙を許してはならない」と訴えました。

平和委員会は「イージス・アショア配備撤回」を口実にして自民党が躍起になって喧伝している「敵基地攻撃論」の違憲性と問題点を「真珠湾攻撃」になぞらえて訴えました。

各団体も労働問題や新型コロナの蔓延に伴う医療や福祉の問題

など、リレートークで1時間余に渡って訴えました。またチラシ・ティッシュ配布、パフォーマンスなどを行いました。

リレートーク終了後、水戸駅北口・宮下銀座入り口に集合して、南町自由広場デモ行進も予定していましたが、コロナの蔓延が激しくなっている現状を鑑み、急きょ中止としました。



ご参加・ご利用ください!

県平和委員会Facebookページ

茨城県平和委員会はHPを開発しています。会の催しや関連イベントなどの情報、またかわら版も掲載しています。しかし、会員との双方向のやりとりなどには対応していません。

そこで、SNSのフェイスブックに交流の場をつくりました。地域の活動や、会員同士の情報交換など、どんどん活用していただければと思います。平和委員会の会員でなくても閲覧できます。会員の方はもちろん、会員以外の方もご参加いただけます。このサイトのメンバーになると、投稿することもできますので、ぜひお気軽にご参加ください。

ご不明点などありましたら、メッセージでお送りください。

<https://www.facebook.com/groups/449291196000108>

茨城県平和委員会Facebookページ



- メンバーになるには
カバー写真の下の「+グループに参加」をクリックします。



QRコード

平和新聞 2020年11月25日(水) 2251号(毎月5,15,25日 発行)

1950年12月16日第三種郵便物許可(1部140円/月額400円/郵送料月額120円)

発行 日本平和委員会

〒105-0014東京都港区芝1-4-9平和会館 Tel.03-3451-6377 Fax.03-3451-6277

平和かわら版【平和新聞茨城版】 No.890 2020 11. 25

発行 茨城県平和委員会

〒310-0912水戸市見川5-127-281
Tel/Fax.029-251-2806

e-mail: ibahei@amber.plala.or.jp